

南山大学 人間関係研究センター春の公開講演会（無料）

# こころ医者の仕事 （こころの処方箋）

2008年5月23日（金）18時～20時

南山大学 名古屋キャンパス D棟DB1教室

お薬を処方する精神科医は医者免許がなくてはなれませんが、お薬の効かない病気には現代の精神科医はほとんど無力です。それには《こころ医者》の方が向いています。《こころ医者》はだれでもなれます。そしてできるだけ多くの人になってもらいたい。耳を傾けて話を聞くことができれば、だれでも《こころ医者》になれます。相手が話すことを通じて成長するのを助けるのが、《こころ医者》の仕事です。聞くことができれば《こころ医者》だといえますが、聞くことはけっこう難しい。成長を見守るには忍耐力も必要です。そして、自分がずいぶんと忍耐できるようになったな、と感じた時《こころ医者》はいつしか、自分も成長したなと感じるようになっていくのです。「神は、悩みを通してしか、精神的に成長できないことを、人間の掟にした」と古代ギリシャの詩人がいいました。病気は体が病むことですが、同時にこころで悩みます。

講師：医師・作家 **なだいなだ 氏**



本名：堀内秀（しげる）。1929年東京生まれ。慶應義塾大学医学部卒業後、フランス政府給費留学生として渡仏し神経学を学ぶ。1955年より慶應医学部神経科入局。以後、各地の精神病院に神経科医として勤務するかたわら文筆活動に入る。1962年より68年末まで国立久里浜病院でアルコール中毒の治療に当たる。当時専門医は少なかったためこの方面の先駆者ということになる。1990年まで明治学院大学国際学部開講以来教授を務めた。著書には、「専門馬鹿と馬鹿専門一つむじ先生の教育論」（筑摩書房）、「TN君の伝記」（福音館文庫）、「人間、とりあえず主義」（筑摩書房）、「〈こころ〉の定点観測」（岩波新書）、「民族という名の宗教」（岩波新書）、「人間、この非人間的なもの」（ちくま文庫）、「神、この人間的なもの」（岩波新書）など、学生向けの教育図書から精神文化に至るまで、数多くの作品を生みだしている。著書「お医者さん」は毎日出版文化賞を受賞。

協力：日本ホリスティック医学協会

～ 参加費は無料となっておりますが、準備の都合上、ご参加の場合は下記までご連絡下さい。～

南山大学 人間関係研究センター 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

TEL：052-832-5002 ・ E-mail：[ninkan-c@nanzan-u.ac.jp](mailto:ninkan-c@nanzan-u.ac.jp)

FAX：052-832-3202 ・ Homepage：<http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/>

※ Fax、E-mail の場合は「氏名」、「参加人数」、「連絡先（E-mail 又は電話番号）」をお知らせください。

【個人情報について】今回ご提供いただきます個人情報は、南山大学個人情報保護に関する規程に基づき、適正な利用と保護および必要な安全措置を講じて参ります。1. 講演会に必要な事務連絡、2. 今後の本学公開講座ご案内（パンフレット送付等）、3. 当日受付簿作成以外の目的には使用いたしません。